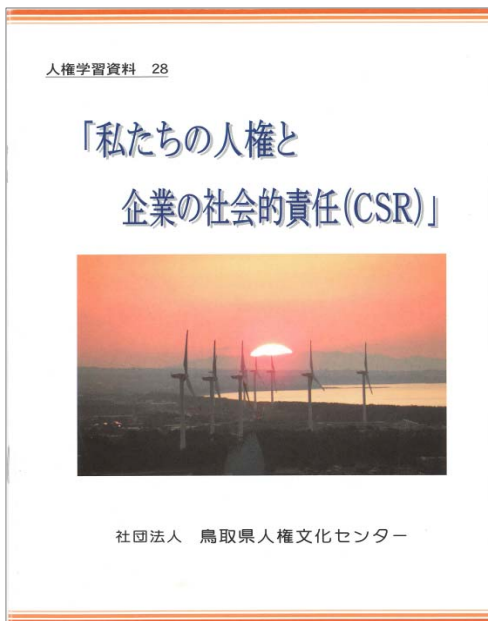


## 人権学習資料 28 私たちの人権と企業の社会的責任（CSR）



サイズ：A5 カラー 24ページ

現在私たちは、環境問題や2008年秋の経済危機以降続く深刻な不況など、世界的規模の難題が山積みの時代に暮らしています。その中で、企業がどのようなことを重視し、どのような活動をしているのか、また企業活動がそれらの難題にどのような影響を与えているのかが注目されるようになりました。

私たちは、ひとりの消費者・市民、あるいは従業員として企業と関わっています。そのような私たちが、今後企業活動に何を求め、私たち自身の生活をどう見直していけばよいのか、「人権」をキーワードに考えていきましょう。

今までと一味違ったテーマです。研修会の教材として、ぜひ、ご活用ください。

## 人権学習資料 29 あなたは『働く』ことに何を求めますか？



サイズ：A5 カラー 24ページ

近年、「派遣切り」、「雇い止め」、「年越し派遣村」等という言葉をよく聞きますが、これらは、労働・雇用のあり方に大きな問題を抱える日本の現状を表しており、私たちの将来に不安を抱かせます。

また、私たちは、働くことに、収入だけでなく、働きがいや自己実現をも求めています。したがって、働く場を失うことは、自身の存在意義・価値さえ失うことにつながります。

そこで、日本の労働・雇用の現状から、どこに問題点があり、どう見直していけばよいのか、「人権」をキーワードに考えていきましょう。



サイズ：A5 カラー 24ページ

「人権とは何ですか？」

みなさんは、こうたずねられた時どのように答えられますか。「すべての人が、生まれながらに持っている権利」と答える人が多いのではと思いますが、では『人権の具体的な内容』となるとどうでしょうか。

すべての人の人権が保障され、大切にされる世の中を実現するためには、社会の隅々にまで人権が大切にされる状況、すなわち人権文化に満ちた社会を築いていくことが必要です。

私たちは、鳥取県人権施策基本方針を踏まえた上で、「人権とは何か」、人権擁護に関する国内や国連の動き等の理解を深め、人権侵害の原因や背景を明らかにする中で、さまざまな人権侵害をなくしていく必要があります。

そのためには、今後どのように人権教育・啓発を推進していくかについて、みなさんと一緒に考えてみたいと思います。

もくじ より

人権侵害・差別の現状



サイズ：A5 カラー 24ページ

「そっとしておけば、差別はなくなると思うのに・・・。」

みなさんは、このような考え方を聞いたことがありますか？これは「寝た子を起こすな」という考え方です。

この考え方は、戦前からあり、1965年の「同和対策審議会答申」で否定されたにもかかわらず、なぜ、今まで改善されなかったのか。種種の調査結果から明らかになった問題点とともに「寝た子を起こすな」論の誤りについて考えましょう。そして、部落差別解消への行動化に向けて、自らの課題について考えていきましょう。

もくじ より

「寝た子を起こすな」論をめぐる意識  
原因と結果を逆転させてはいけない

## 部落問題学習資料 25 「差別の現実から深く学ぶ」とは？



サイズ：A5 カラー 24ページ

この「差別の現実から深く学ぶ」という原則は、単に同和教育・人権教育にとどまらず、教育活動全般にかかわる「教育実践の原則」ともなっています。

ところが、この原則の意味するところについては、実はしっかり議論できていないままに、不十分な理解にとどまっているのではないかと思います。

「心がけ」「思いやり」といった観念的な同和教育・人権教育から脱却するためにも、この学習資料をもとに、学校・地域・事業所などで議論をしていきましょう。

もくじ より

この原則の「差別の現実」とはということだったので  
しょうか？

## 部落問題学習資料 24 「自らの課題」とは？～識字運動を通して考えてみましょう～



サイズ：A5 カラー 24ページ

「部落問題を自分のこととして考えよう」「部落問題・部落解放は自分の課題である」と同和教育・人権教育の場で、これまで繰り返し言われてきました。

しかし、結果として、部落問題が自分の課題とならず、「他人事」となってしまうのではないでしょうか。

「自らの課題」をどうとらえたらよいかを、「部落解放運動の原点」といわれる「識字運動」をもとにして考えてみましょう。

もくじ より

字をしっている人の「自らの課題」とは？

パウロ・フレイレと識字運動

[既刊一覧へ](#)